

論点等説明シート

事業名

がん診療連携拠点病院機能強化事業等

予算の状況  
(単位:百万円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
予算額(補正後)	7,553	7,496	7,995	6,598	
執行額	7,501	7,495	7,976		
執行率	99%	100%	100%		

事業についての論点等

(事業の概要)

地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高いがん医療等の提供体制を確立することを目的として、厚生労働大臣が指定したがん診療連携拠点病院等が実施する、がん医療に従事する医師等に対する研修、がん患者やその家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の事業に対して財政支援を行う。

(主な事業内容)

- ・がん専門医等の育成
- ・がん診療ネットワークの構築
- ・がん患者やその家族に対する相談支援
- ・がんの普及啓発
- ・緩和ケアの提供体制の構築 等

<成果目標及び成果実績>

成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
				がんの年齢調整死亡率(75歳未満)を前年度以下へ減少	がんの年齢調整死亡率 [[観察集団の各年齢(年齢階級)の死亡率]×[基準人口集団のその年齢(年齢階級)の人口]]の各年齢(年齢階級)の総和 / 基準人口集団の総人口	成果実績 人口10万対	69.6	67.4
			目標値 人口10万対	70	69.6	67.4	-	
			達成度 %	99.4	96.8	-	-	
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	仕事と治療の両立ができる環境とと思う人の割合を40%	仕事と治療の両立ができる環境とと思う人の割合 ※令和元年度:37.1%	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
				成果実績 %	-	-	-	-
				目標値 %	-	-	-	40
				達成度 %	-	-	-	-

(論点)

- ・現行の成果指標である「がんの年齢調整死亡率」及び「仕事と治療の両立ができる環境とと思う人の割合」については、がん医療の提供や相談支援等の体制が充実することによる長期的な成果を測りうる指標ではあるものの、本事業の成果をより適切に評価するためには、がん患者が本事業の実施による効果をどの程度実感できているかといった視点を十分踏まえた成果指標を設定する必要があるのではないか。
- ・がんに関する普及啓発については、各地域の「がん診療連携拠点病院」等が地域住民等に対し、様々な取組を行っているが、より効果的・効率的な手法がないか検討する必要があるのではないか。